

ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)

運用報告書 (全体版) 第6期

(決算日 2021年6月10日)

(作成対象期間 2020年12月11日~2021年6月10日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	約5年間 (2018年6月11日~2023年6月9日)	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	為替ヘッジあり	イ. アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用) の受益証券 ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	為替ヘッジなし	イ. アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用) の受益証券 ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーストック・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界のフィンテック関連企業の株式に投資し、値上がり益を追求することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先 (コールセンター)

TEL 0120-106212

(営業日の9:00~17:00)

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<2752>

<2753>

為替ヘッジあり

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC World指数 (配当込み、米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期騰 落率	(参考指数)	期騰 落率			
2期末(2019年6月10日)	円 10,363	円 50	% 14.5	10,074	% 9.2	% -	% 99.6	百万円 14,378
3期末(2019年12月10日)	10,798	150	5.6	10,943	8.6	-	99.1	9,894
4期末(2020年6月10日)	11,330	100	5.9	10,950	0.1	-	99.1	9,116
5期末(2020年12月10日)	12,062	1,100	16.2	12,888	17.7	-	99.6	7,127
6期末(2021年6月10日)	12,278	850	8.8	14,769	14.6	-	99.0	6,645

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCI AC World指数（配当込み、米ドルベース）は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCI AC World指数（配当込み、米ドルベース）の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World指数（配当込み、米ドルベース）は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：12,062円

期末：12,278円（分配金850円）

騰落率：8.8%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

当作成期は、主に米国や欧州の保有銘柄の株価が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ワールド・フィンテック革命ファンド（為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC World 指数 (配当込み、米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2020年12月10日	円 12,062	% -	12,888	% -	% -	% 99.6
12月末	12,415	2.9	13,147	2.0	-	98.9
2021年 1 月末	12,165	0.9	13,393	3.9	-	99.2
2 月末	12,919	7.1	13,669	6.1	-	99.0
3 月末	12,512	3.7	13,809	7.1	-	99.0
4 月末	13,367	10.8	14,571	13.1	-	99.7
5 月末	13,086	8.5	14,671	13.8	-	99.4
(期末) 2021年 6 月10日	13,128	8.8	14,769	14.6	-	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2020.12.11～2021.6.10)

■グローバル株式市況

グローバル株式市場は上昇しました。

グローバル株式市場は、当作成期首より、欧米において複数の新型コロナウイルスのワクチンが承認されて接種が始まったことを受け、上昇基調で推移しました。2021年1月には、ウイルスの変異株の感染が確認され、各国の経済活動制限措置が再強化されると株価が下落に転じる局面もありましたが、3月から当作成期末にかけては、米国での大規模な経済対策の成立や米国の経済指標の改善などを受けて、株価は堅調に推移しました。



前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）：アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）

当ファンドが投資する「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

株式市場は中期的に堅調に推移していくと考えます。新型コロナウイルスのワクチン接種が開始されたことにより、2021年の持続的な景気回復への期待が持てます。長期にわたって緩和的な金融政策が維持されると同時に財政支援策が2021年も継続される可能性が高く、これらの政策が株式市場全般を下支えするとみています。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、現金決済からデジタル決済への移行が加速したことは、フィンテック分野への追い風となっています。また、コロナ危機の経験から、多くの企業は将来起こり得るパンデミック（世界的大流行）に備え、今後もビジネスに不可欠なデジタル化へ投資し続けていくと思われます。これらを背景に、今後も最先端のクラウド型ソリューション、臨機

ワールド・フィンテック革命ファンド（為替ヘッジあり）

応変に対処可能なIT（情報技術）システム、サイバーセキュリティ、高性能のビッグデータやAI（人工知能）エンジンに対する強い需要が見込まれます。

フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のITを用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化し、10年以上続く成長市場になっていくと予想しています。当ファンドは、長期トレンドを捉える成長企業に投資することでファンドの成長をめざします。

また、保有する実質外貨建資産については為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2020.12.11~2021.6.10)

■当ファンド

当ファンドは、フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）とダイワ・マネースtock・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期を通して、フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）を高位に組み入れました。

■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）

当ファンドの主要投資対象である「アクサIM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

当作成期は、「キャッシュレス・ビジネス」では、米国のクレジットカード会社のビザや決済サービス企業ペイパル・ホールディングスなど、「フィンテック技術基盤」では、米国のセキュリティサービス会社パロアルトネットワークスなど、「次世代金融リーダー」では、米国の資産運用会社ブラックロックなどに投資を行いました。不動産企業間のプラットフォームなどを提供するドイツの金融サービス会社ヒポポートや、AI（人工知能）を活用して、自宅保有者や賃貸業者を対象に保険サービスを提供する米国の保険サービス会社Lemonadeを新たに組み入れました。一方、DNB銀行より魅力的な買取提案を受けて大幅な上昇となったノルウェーのデジタル銀行であるスバンケンを全部売却しました。

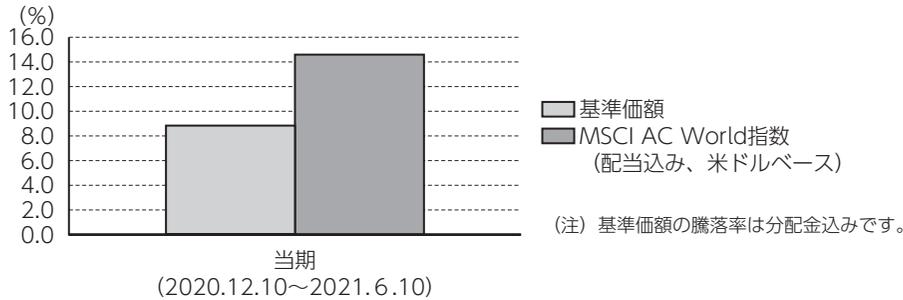
また、保有する実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行いました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2020年12月11日 ～2021年6月10日	
当期分配金（税込み）	(円)	850
対基準価額比率	(%)	6.47
当期の収益	(円)	850
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	2,277

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0.00円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓ 931.33
(c) 収益調整金	634.07
(d) 分配準備積立金	1,562.23
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	3,127.63
(f) 分配金	850.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	2,277.63

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）

当ファンドが投資する「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT（情報技術）を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化していき、長期にわたる成長市場になっていくと予想しています。

運用にあたっては、高い成長性と強固なバランスシートを持つ企業に着目し、新型コロナウイルス収束後の経済活動の正常化を見据えてポートフォリオ構築を行っていく方針です。引き続き、長期トレンドを捉える成長企業に投資することでファンドの成長をめざします。

また、保有する実質外貨建資産については為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2020.12.11~2021.6.10)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	78円	0.614%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は12,773円です。
（投 信 会 社）	(25)	(0.192)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(53)	(0.411)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.011)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	79	0.618	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

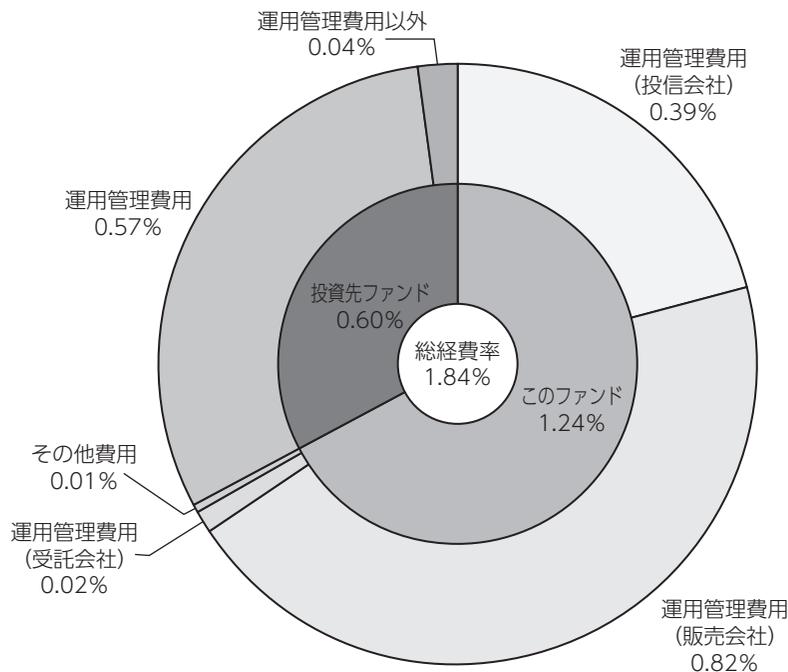
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直前の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.84%です。



総経費率 (①+②+③)	1.84%
①このファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2020年12月11日から2021年6月10日まで）

国	買付	付		付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
内	アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（ヘッジあり） （適格機関投資家専用）	879,702.915	1,317,000	1,679,361.434	2,494,000

（注1）金額は受渡し代金。
（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券 アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（ヘッジあり） （適格機関投資家専用）	千口 4,291,592.684	千円 6,579,869	% 99.0

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注2）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首			当 期 末		
	□ 数	金 額	評 価 額	□ 数	金 額	評 価 額
	千口	千円	千円	千口	千円	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0	0	0	0	0	0

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年6月10日現在

項 目	当 期 末		
	評 価 額	比 率	%
	千円		%
投資信託受益証券	6,579,869	91.8	
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0	0.0	
コール・ローン等、その他	585,253	8.2	
投資信託財産総額	7,165,124	100.0	

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年6月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	7,165,124,233円
コール・ローン等	547,253,332
投資信託受益証券(評価額)	6,579,869,903
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	998
未収入金	38,000,000
(B) 負債	519,836,215
未払収益分配金	460,064,611
未払解約金	17,675,365
未払信託報酬	41,816,309
その他未払費用	279,930
(C) 純資産総額(A - B)	6,645,288,018
元本	5,412,524,837
次期繰越損益金	1,232,763,181
(D) 受益権総口数	5,412,524,837口
1万口当り基準価額(C/D)	12,278円

*期首における元本額は5,908,881,886円、当作成期間中における追加設定元本額は1,181,631,140円、同解約元本額は1,677,988,189円です。
*当期末の計算口数当りの純資産額は12,278円です。

■損益の状況

当期 自2020年12月11日 至2021年6月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 14,876円
受取利息	2,319
支払利息	△ 17,195
(B) 有価証券売買損益	546,201,769
売買益	650,817,425
売買損	△ 104,615,656
(C) 信託報酬等	△ 42,096,378
(D) 当期損益金(A + B + C)	504,090,515
(E) 前期繰越損益金	845,543,481
(F) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	343,193,796 (292,865,164)
(売買損益相当額)	(50,328,632)
(G) 合計(D + E + F)	1,692,827,792
(H) 収益分配金	△ 460,064,611
次期繰越損益金(G + H)	1,232,763,181
追加信託差損益金 (配当等相当額)	343,193,796 (292,865,164)
(売買損益相当額)	(50,328,632)
分派準備積立金	889,584,261
繰越損益金	△ 14,876

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	504,084,782
(c) 収益調整金	343,193,796
(d) 分配準備積立金	845,564,090
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,692,842,668
(f) 分配金	460,064,611
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,232,778,057
(h) 受益権総口数	5,412,524,837口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	850円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

為替ヘッジなし

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC World指数 (配当込み、円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期騰落 中率	(参考指数)	期騰落 中率			
2期末(2019年6月10日)	円 10,279	円 50	% 11.7	9,992	% 5.3	% -	% 99.3	百万円 83,535
3期末(2019年12月10日)	10,777	150	6.3	10,869	8.8	-	98.6	61,678
4期末(2020年6月10日)	11,273	100	5.5	10,788	△ 0.7	-	99.4	55,312
5期末(2020年12月10日)	11,943	950	14.4	12,284	13.9	-	99.5	43,958
6期末(2021年6月10日)	12,635	1,200	15.8	14,802	20.5	-	99.1	34,225

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCI AC World指数（配当込み、円換算）は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCI AC World指数（配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World指数（配当込み、米ドルベース）は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

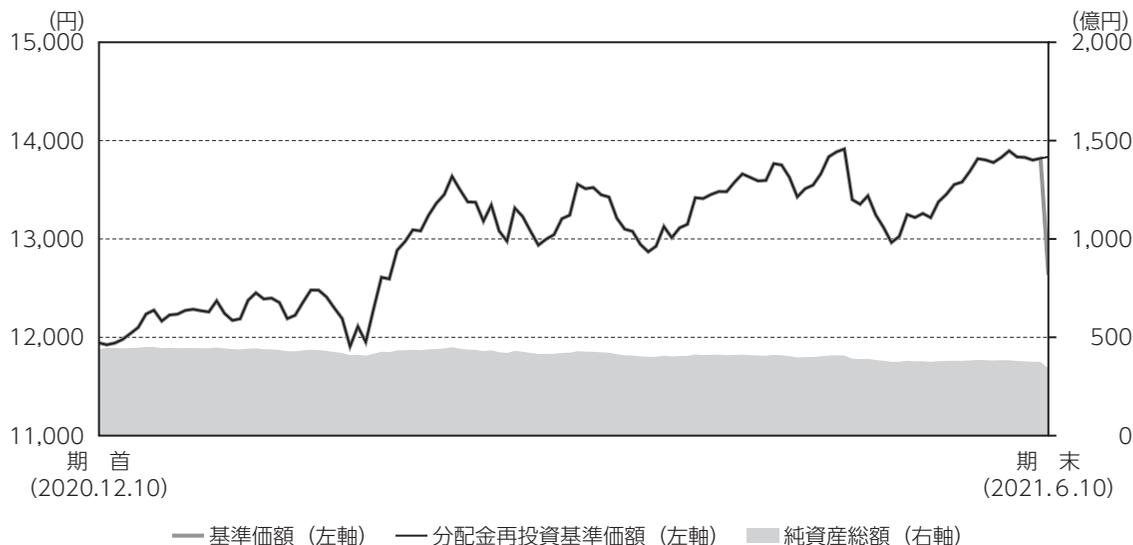
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：11,943円

期末：12,635円（分配金1,200円）

騰落率：15.8%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

当作成期は、主に米国や欧州の保有銘柄の株価が上昇したことや、米ドルやユーロが対円で上昇（円安）したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC World 指数 (配当込み、円換算) (参考指数)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期首) 2020年12月10日	円 11,943	% -	12,284	% -	% -	% 99.5
12月末	12,258	2.6	12,437	1.2	-	99.1
2021年 1 月末	12,110	1.4	12,790	4.1	-	99.0
2 月末	13,081	9.5	13,275	8.1	-	99.0
3 月末	13,113	9.8	13,973	13.8	-	99.5
4 月末	13,915	16.5	14,508	18.1	-	99.5
5 月末	13,803	15.6	14,718	19.8	-	99.4
(期末) 2021年 6 月10日	13,835	15.8	14,802	20.5	-	99.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2020.12.11～2021.6.10)

■グローバル株式市況

グローバル株式市場は上昇しました。

グローバル株式市場は、当作成期首より、欧米において複数の新型コロナウイルスのワクチンが承認されて接種が始まったことを受け、上昇基調で推移しました。2021年1月には、ウイルスの変異株の感染が確認され、各国の経済活動制限措置が再強化されると株価が下落に転じる局面もありましたが、3月から当作成期末にかけては、米国での大規模な経済対策の成立や米国の経済指標の改善などを受けて、株価は堅調に推移しました。

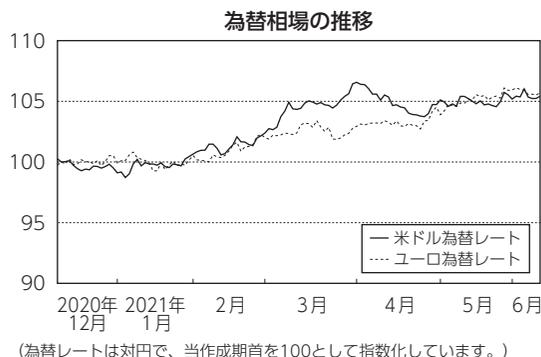


■為替相場

為替相場は、米ドルおよびユーロ円相場は上昇しました。

米ドル円相場は、米国経済の回復期待や米国の長期金利の上昇を受けて、上昇しました。

ユーロ円相場においても、市場のリスク選好姿勢が強まり、安全通貨とされる円が売られたことや、ユーロ圏での良好な経済指標の発表などを受け、上昇しました。



前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）：アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドが投資する「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

株式市場は中期的に堅調に推移していくと考えます。新型コロナウイルスのワクチン接種が開始されたことにより、2021年の持続的な景気回復への期待が持てます。長期にわたって緩和的な金融政策が維持されると同時に財政支援策が2021年も継続される可能性が高く、これらの政策が株式市場全般を下支えするとみています。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、現金決済からデジタル決済への移行が加速したことは、フィンテック分野への追い風となっています。また、コロナ危機の経験から、多くの企業は将来起こり得るパンデミック（世界的大流行）に備え、今後もビジネスに不可欠なデジタル化へ投資し続けていくと思われます。これらを背景に、今後も最先端のクラウド型ソリューション、臨機応変に対処可能なIT（情報技術）システム、サイバーセキュリティ、高性能のビッグデータやAI（人工知能）エンジンに対する強い需要が見込まれます。

フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のITを用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化し、10年以上続く成長市場になっていくと予想しています。当ファンドは、長期トレンドを捉える成長企業に投資することでファンドの成長をめざします。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2020.12.11～2021.6.10)

■当ファンド

当ファンドは、フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）とダイワ・マネースtock・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期を通して、フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）を高位に組み入れました。

■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドの主要投資対象である「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

当作成期は、「キャッシュレス・ビジネス」では、米国のクレジットカード会社のビザや決済サービス企業ペイパル・ホールディングスなど、「フィンテック技術基盤」では、米国のセキュリティサービス会社パロアルトネットワークスなど、「次世代金融リーダー」では、米国の資産運用会社ブラックロックなどに投資を行いました。不動産企業間のプラットフォームなどを提供するドイツの金融サービス会社ヒポポートや、AI（人工知能）を活用して、自宅保有者や賃貸業者を対象に保険サービスを提供する米国の保険サービス会社Lemonadeを新たに組み入れました。一方、DNB銀行より魅力的な買取提案を受けて大幅な上昇となったノルウェーのデジタル銀行であるスバンケンを全部売却しました。

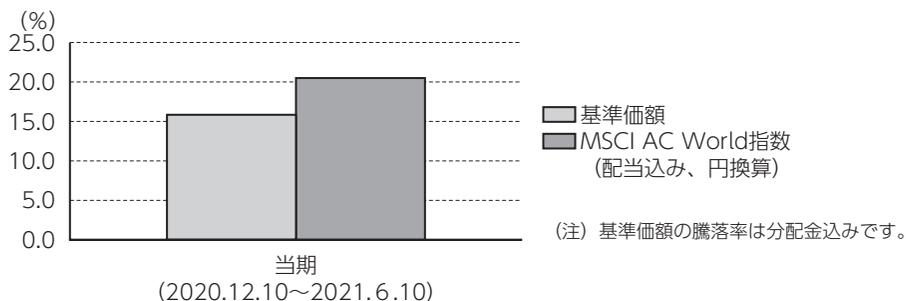
■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2020年12月11日 ～2021年6月10日	
当期分配金（税込み） (円)	1,200	
対基準価額比率 (%)	8.67	
当期の収益 (円)	1,200	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	2,634	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当	期
(a) 経費控除後の配当等収益		0.00円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓	1,876.71
(c) 収益調整金		205.38
(d) 分配準備積立金		1,752.71
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)		3,834.82
(f) 分配金		1,200.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)		2,634.82

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドが投資する「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT（情報技術）を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化していき、長期にわたる成長市場になっていくと予想しています。

運用にあたっては、高い成長性と強固なバランスシートを持つ企業に着目し、新型コロナウイルス収束後の経済活動の正常化を見据えてポートフォリオ構築を行っていく方針です。引き続き、長期トレンドを捉える成長企業に投資することでファンドの成長をめざします。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2020.12.11~2021.6.10)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	80円	0.614%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は13,035円です。
（投 信 会 社）	(25)	(0.192)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(54)	(0.411)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.011)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	80	0.617	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

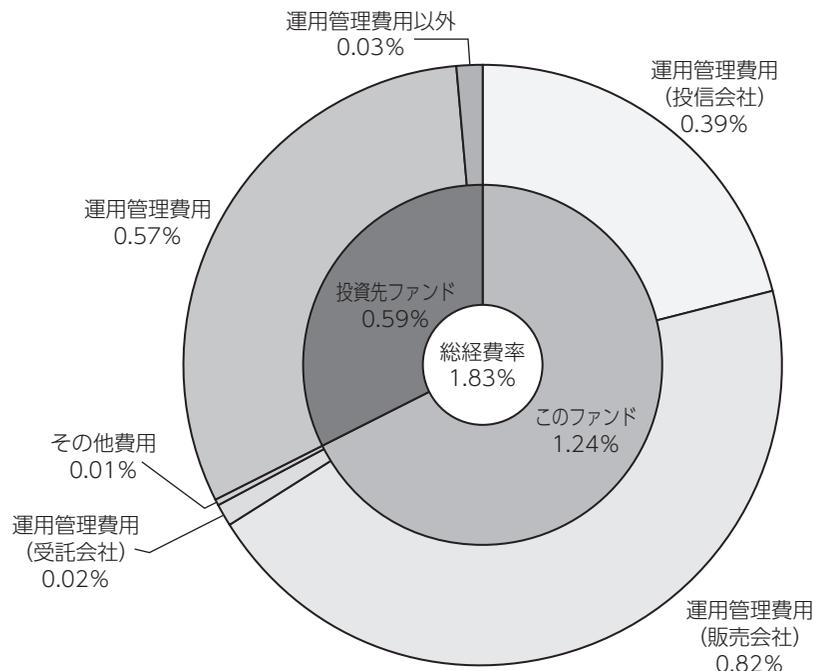
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.83%です。



総経費率 (①+②+③)	1.83%
①このファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2020年12月11日から2021年6月10日まで）

国	買付	付		付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
内	アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（ヘッジなし） （適格機関投資家専用）	292,611.559	400,000	11,065,631.135	16,670,000

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券	千口	千円	%
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（ヘッジなし） （適格機関投資家専用）	21,336,851.294	33,927,727	99.1

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注2）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0	0	0

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年6月10日現在

項 目	当 期 末		
	評 価 額	比 率	%
	千円		
投資信託受益証券	33,927,727		89.1
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0		0.0
コール・ローン等、その他	4,144,548		10.9
投資信託財産総額	38,072,276		100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年6月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	38,072,276,802円
コール・ローン等	3,894,548,562
投資信託受益証券(評価額)	33,927,727,242
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	998
未収入金	250,000,000
(B) 負債	3,846,838,552
未払収益分配金	3,250,589,318
未払解約金	339,045,637
未払信託報酬	256,118,227
その他未払費用	1,085,370
(C) 純資産総額(A - B)	34,225,438,250
元本	27,088,244,321
次期繰越損益金	7,137,193,929
(D) 受益権総口数	27,088,244,321口
1万口当り基準価額(C/D)	12,635円

* 期首における元本額は36,808,344,748円、当作成期間中における追加設定元本額は1,244,492,512円、同解約元本額は10,964,592,939円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は12,635円です。

■損益の状況

当期 自2020年12月11日 至2021年6月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 74,214円
受取利息	14,806
支払利息	△ 89,020
(B) 有価証券売買損益	5,341,012,530
売買益	6,353,758,345
売買損	△ 1,012,745,815
(C) 信託報酬等	△ 257,204,935
(D) 当期損益金(A + B + C)	5,083,733,381
(E) 前期繰越損益金	4,747,694,926
(F) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	556,354,940 (517,957,091)
(売買損益相当額)	(38,397,849)
(G) 合計(D + E + F)	10,387,783,247
(H) 収益分配金	△ 3,250,589,318
次期繰越損益金(G + H)	7,137,193,929
追加信託差損益金 (配当等相当額)	556,354,940 (517,957,091)
(売買損益相当額)	(38,397,849)
分準準備積立金	6,580,913,203
繰越損益金	△ 74,214

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	5,083,702,582
(c) 収益調整金	556,354,940
(d) 分配準備積立金	4,747,799,939
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	10,387,857,461
(f) 分配金	3,250,589,318
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	7,137,268,143
(h) 受益権総口数	27,088,244,321口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	1,200円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

<補足情報>

当ファンド（ワールド・フィンテック革命ファンド（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし））が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2020年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2021年6月10日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄

2020年12月11日～2021年6月10日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2021年6月10日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第11期 (決算日 2020年12月9日)

(作成対象期間 2019年12月10日～2020年12月9日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

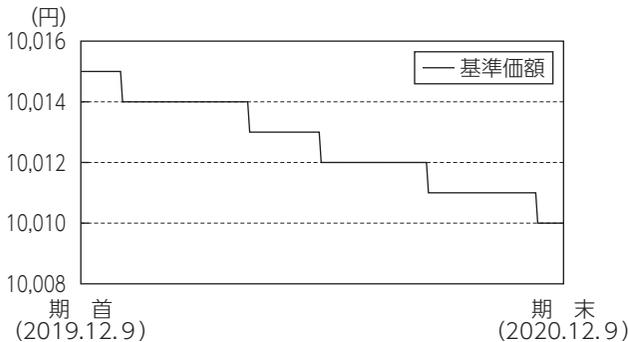
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 率
	騰 落 率	組 入 比 率	
(期首)2019年12月9日	円	%	%
12月9日	10,015	-	-
12月末	10,015	0.0	-
2020年 1 月 末	10,014	△0.0	-
2 月 末	10,014	△0.0	-
3 月 末	10,014	△0.0	-
4 月 末	10,013	△0.0	-
5 月 末	10,013	△0.0	-
6 月 末	10,012	△0.0	-
7 月 末	10,012	△0.0	-
8 月 末	10,011	△0.0	-
9 月 末	10,011	△0.0	-
10 月 末	10,011	△0.0	-
11 月 末	10,010	△0.0	-
(期末)2020年12月9日	10,010	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,015円 期末：10,010円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
 (注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	88,460,615	100.0
投資信託財産総額	88,460,615	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	88,460,615,301円
コール・ローン等	88,460,615,301
(B) 負債	50,000,000
未払解約金	50,000,000
(C) 純資産総額(A - B)	88,410,615,301
元本	88,319,921,795
次期繰越損益金	90,693,506
(D) 受益権総口数	88,319,921,795口
1万口当り基準価額(C/D)	10,010円

* 期首における元本額は103,532,314,258円、当作成期間中における追加設定元本額は103,255,612,211円、同解約元本額は118,468,004,674円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック-947,268円、ダイワ/ミレリアセット・インド株ファンド - インドの匠-29,910,270円、ワールド・フィンテック革命ファンド(為替ヘッジあり) 998円、ワールド・フィンテック革命ファンド(為替ヘッジなし) 998円、新興国ソブリン・豪ドルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジルレアルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、US短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 102,434円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (為替ヘッジあり) 39,849円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型) - ロボテック(年1回) - (為替ヘッジあり) 3,985円、iFreeレパレッジ S & P 500 1,249,412,852円、iFreeレパレッジ N A S D A Q 100 11,006,295,149円、米国4資産リスク分散ファンド(年2回決算型) 689,912円、グリーンテック株式ファンド(資産成長型) 998,802円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (毎月決算/予想分配金提示型) 999円、ダイワ上場投信-日経平均レパレッジ・インデックス2,927,475,552円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインバース・インデックス6,683,086,104円、ダイワ上場投信-TOP1Xレパレッジ(2倍)指数1,085,050,377円、ダイワ上場投信-TOP1Xダブルインバース(-2倍)指数1,226,094,880円、ダイワ上場投信-日経平均インバース・インデックス25,058,858,800円、ダイワ上場投信-TOP1Xインバース(-1倍)指数11,170,317,850円、ダイワ上場投信-JPX日経400レパレッジ・インデックス387,469,071円、ダイワ上場投信-JPX日経400インバース・インデックス611,537,975円、ダイワ上場投信-JPX日経400ダブルインバース・インデックス141,884,108円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2016-10 997円、先進国トータルリターン戦略ファンド(リスク抑制型/適格機関投資家専用) 6,988,339,549円、ダイワ日本株ベア・ファンド(適格機関投資家専用) 19,374,063,390円、低リスク型アロケーションファンド(金利トレンド判断付き/適格機関投資家専用) 179,433,743円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - S L Tレド-5,091,608円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ149,382,442円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ5,609,419円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 豪ドル・コース(毎月分配型) 595,106円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII ブラジル・レアル・コース(毎月分配型) 987,373円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 494,581円、ダイワUS短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型) 9,957円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ/ミレリアセット・細細株株式ファンド9,958,176円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型)米ドル・コース1,989,053円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型)ブラジル・レアル・コース2,978,118円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型)通貨セレクト・コース1,691,241円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型) - ロボテック(年1回) -100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり(毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし(毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進

国リートα 円ヘッジコース(毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース(毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジあり) 1,091,429円、ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジなし) 315,004円、ダイワ/ミレリアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 日本円・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース(毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- ブラジル・レアル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 米ドル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 日本円・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 豪ドル・コース200,861円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 ブラジル・レアル・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 米ドル・コース1,999,177円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース505,900円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,010円です。

■損益の状況

当期 自2019年12月10日 至2020年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 34,974,173円
受取利息	1,075,374
支払利息	△ 36,049,547
(B) その他費用	△ 1,522,123
(C) 当期損益金(A + B)	△ 36,496,296
(D) 前期繰越損益金	156,051,230
(E) 解約差損益金	△161,476,434
(F) 追加信託差損益金	132,615,006
(G) 合計(C + D + E + F)	90,693,506
次期繰越損益金(G)	90,693,506

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

	為替ヘッジなし	為替ヘッジあり
商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約5年(2023年6月8日まで)	
運用方針	アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド(以下、「マザーファンド」)の受益証券を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	ペビーファンド	マザーファンドの受益証券
	マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式(DR(預託証券))を含みます。以下同じ。)および株式関連証券
ペビーファンドの運用方法	<p>1. 主として、マザーファンドの受益証券を通じて日本を含む世界のフィンテック関連企業の株式(DR(預託証券))を含みます。)に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。投資にあたっては、①キャッシュレス・ビジネス、②テクノロジーを積極的に取り込む金融ビジネス、③フィンテックの技術基盤の3つの成長テーマに着目します。</p> <p>※当ファンドにおいてフィンテック関連企業とは、多岐にわたる新たなテクノロジーを通じて、保険、資産運用、融資、決済などの既存の金融サービスに変革をもたらす企業をいいます。</p> <p>2. マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位に維持します。</p>	<p>3. 実質組入外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。</p> <p>※一部の通貨について、為替ヘッジが困難、あるいは、ヘッジコストが過大と判断される際には、為替ヘッジを行わない、または他の通貨による代替ヘッジを行う場合があります。</p>
	<p>3. 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	<p>4. 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。</p>
マザーファンドの運用方法	<p>1. 主として、日本を含む世界のフィンテック関連企業の株式に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。投資にあたっては、①キャッシュレス・ビジネス、②テクノロジーを積極的に取り込む金融ビジネス、③フィンテックの技術基盤の3つの成長テーマに着目します。</p> <p>※当ファンドにおいてフィンテック関連企業とは、多岐にわたる新たなテクノロジーを通じて、保険、資産運用、融資、決済などの既存の金融サービスに変革をもたらす企業をいいます。</p> <p>2. ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行うことを基本とします。</p> <p>イ) 日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式の中から、金融・経済情勢などを勘案した上で、フィンテック分野で長期にわたり成長の可能性を有する企業群を選定します。その中から、流動性の低い銘柄を除外したものを投資対象銘柄として選定します。</p> <p>ロ) 投資対象銘柄の中から、詳細なファンダメンタル企業分析を行い、中長期的な収益成長性、フィンテック分野における優位性、新しい技術を開発または活用する能力、市場をリードする商品・サービスの有無、強力な経営陣などを考慮することで、組入候補銘柄を選定します。</p> <p>ハ) 選定した組入候補銘柄から、株価の上昇期待度や下落の余地、ポートフォリオ全体のリスクなどを考慮して、確信度に基づいて組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。</p>	
	<p>3. 株式および株式関連証券の組入比率は、原則として高位に維持します。</p> <p>4. 運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズ・パリに運用の指図に関する権限を委託します。</p> <p>5. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>6. 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。</p>	
組入制限	ペビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
配分方針	毎決算時に原則として以下の方針に基づき配分を行います。	
	<p>①配分対象額の範囲内は繰越分を含めた利益、配当等収益と売買益(繰越欠損補填後、評価損益を含む)等の金額とします。</p> <p>②配分金額は委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。基準価額水準、市況動向等によっては配分を行わないこともあります。将来の配分金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p> <p>③留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>	

アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド (為替ヘッジなし/為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)

追加型投信／海外／株式

運用報告書 (全体版)

第6期(決算日 2021年5月10日)

受益者の皆様へ

平素は格別のお引き立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド(為替ヘッジなし/為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)」は、このたび第6期の決算を行いました。当ファンドは、アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンドの受益証券を通じて、日本を含む世界のフィンテック関連株式に投資することにより、信託財産の成長を目指します。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

引き続き一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
東京都港区白田1-17-3 NBFプラチナタワー14階
<http://www.axa-im.co.jp/>

《当運用報告書の記載内容に関する問い合わせ先》

電話番号：03-5447-3160

受付時間：9：00～17：00(土日祭日を除く)

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			株式組入比率	純資産額
	(分配落)	税金 込 配 金	期騰 落 中 率		
	円	円	%	%	百万円
2期(2019年5月10日)	10,385	0	7.1	96.6	83,100
3期(2019年11月11日)	11,018	0	6.1	97.0	67,521
4期(2020年5月11日)	10,397	0	△ 5.6	94.3	48,595
5期(2020年11月10日)	13,027	0	25.3	94.2	53,700
6期(2021年5月10日)	15,426	0	18.4	96.0	49,919

(注1) 基準価額および分配金は1万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基準価額		株式組入比率
	騰落率	騰落率	
(期首) 2020年11月10日	円	%	%
11月末	13,027	—	94.2
12月末	13,478	3.5	96.6
2021年1月末	14,000	7.5	93.6
2月末	13,844	6.3	96.0
3月末	14,974	14.9	92.3
4月末	15,028	15.4	95.2
4月末	15,972	22.6	95.3
(期末) 2021年5月10日	15,426	18.4	96.0

(注1) 基準価額は1万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み、騰落率は期首比です。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			株組入比率	純資産額
	(分配落)	税金 込 分 配 金	期騰 落 中 率		
	円	円	%	%	百万円
2期(2019年5月10日)	10,401	0	10.0	94.5	14,586
3期(2019年11月11日)	11,039	0	6.1	97.3	10,516
4期(2020年5月11日)	10,697	0	△ 3.1	89.4	8,199
5期(2020年11月10日)	13,286	0	24.2	95.2	7,808
6期(2021年5月10日)	15,024	0	13.1	96.2	6,143

(注1) 基準価額および分配金は1万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基準価額		株組入比率
	騰落率	騰落率	
(期首) 2020年11月10日	円	%	%
11月末	13,286	—	95.2
12月末	13,866	4.4	96.2
2021年1月末	14,366	8.1	95.1
2月末	14,090	6.1	96.9
3月末	14,983	12.8	96.2
4月末	14,525	9.3	97.3
4月末	15,563	17.1	94.4
(期末) 2021年5月10日	15,024	13.1	96.2

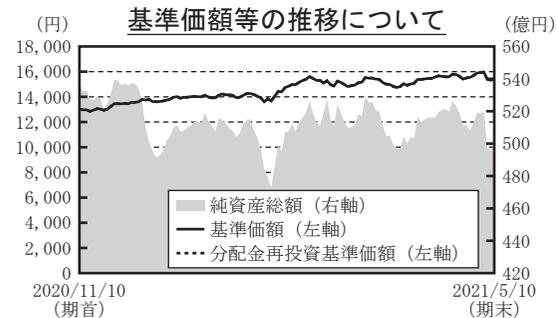
(注1) 基準価額は1万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み、騰落率は期首比です。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期の運用状況（2020年11月11日～2021年5月10日）

為替ヘッジなし

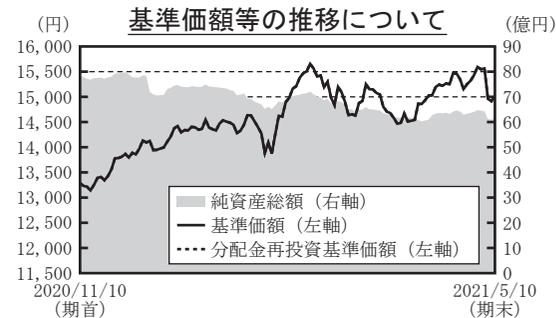


期首：13,027円

期末：15,426円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：18.4%（分配金再投資ベース）

為替ヘッジあり



期首：13,286円

期末：15,024円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：13.1%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

○為替ヘッジなし

当期は、米国を中心に保有銘柄の株価が全般的に上昇しプラス寄与となり、基準価額は上昇しました。

○為替ヘッジあり

当期は、米国を中心に保有銘柄の株価が全般的に上昇しプラス寄与となり、基準価額は上昇しました。

【投資環境について】

○グローバル株式市場

当期のグローバル株式市場は、上昇しました。期初より米国大統領選挙で市場の不透明感が後退したことや、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のワクチン臨床試験において複数の会社から高い有効性を示す結果が出されたことを好感して株価は大きく上昇しました。12月から2021年1月にかけて複数のワクチンが承認され、一部の国や地域で接種が開始されたことを受けて引き続き株価は堅調に推移しました。さらに2月には米国でバイデン大統領による追加景気対策への期待を追い風に12日の主要3株価指数は最高値を更新し、日本でもワクチン承認による「コロナ後」の景気回復への期待から15日の日経平均株価は約30年ぶりに3万円を超えました。3月には米国で救済計画法案が成立し、経済活動再開への期待が高まり4月には米国の2021年1-3月（第1四半期）実質国内総生産速報値の大幅な上昇など期末にかけて堅調に推移しました。

○為替市場

為替市場では、米ドル・円レートは期初は105円台から期末には108円台となり、ユーロ・円レートは期初の124円台から期末には132円台となりました。

当期は、米ドルは12月末に成立した経済対策に加え、3月中旬に成立した救済計画法案制定による景気回復期待や金利の上昇を受けて、ユーロは株式市場の上昇によりリスク選好姿勢が強まり、比較的安全な通貨とされる円が売られる傾向となり、円安が進行しました。

【ポートフォリオについて】

○当ファンド

主要投資対象である「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れました。

○アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド

当ファンドは、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマであるキャッシュレス・ビジネス、フィンテック技術基盤、次世代金融リーダーに着目して、フィンテック企業に投資を行います。フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT技術を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化し、10年以上続く成長市場になっていくと予想しています。当ファンドは、長期トレンドを捉える成長企業に投資することでファンドの成長を目指します。企業規模の面ではビザやフィデリティ・ナショナル・インフォメーション・サービスズのような大型株からWE X、ネットワーク・インターナショナル・ホールディングスなどの中小型株にも幅広く投資しています。地域別ではフィンテック関連企業の技術革新において先進的な地域である米国を中心に、グローバルに投資をしています。

期の前半は、大幅な株価上昇を受けて米国の金融機関JPモルガンやシティグループおよび中国の保険会社中国平安保険（集団）等大手金融会社の株式を利益確定で売却しました。期の後半には、ドイツの金融サービス会社ヒポポートや4月に新規株式公開（IPO）を果たしたスペインの資産運用会社オールファンズを新たに組み入れ、米国のサイバーセキュリティ会社プルーフポイントを売却しました。

【当ファンドのベンチマークの差異】

当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ファンダメンタル・リサーチに基づくボトムアップの銘柄選定にフォーカスした運用を行います。従って、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

【分配金】

○為替ヘッジなし

当期は、基準価額の水準等を勘案し、収益の分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用いたします。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

		第6期
		2020年11月11日～2021年5月10日
当期分配金		—
	（対基準価額比率）	—%
	当期の収益	—
	当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額		5,426

（注1）「当期の収益」は「費用控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備設立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

（注2）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注3）「当期の収益」および「当期の収益以外」の算出に当たっては、1万口当たりで小数点以下を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

○為替ヘッジあり

当期は、基準価額の水準等を勘案し、収益の分配を見送らせていただきました。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用いたします。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

		第6期
		2020年11月11日～2021年5月10日
当期分配金		—
	（対基準価額比率）	—%
	当期の収益	—
	当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額		5,023

（注1）「当期の収益」は「費用控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備設立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

（注2）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注3）「当期の収益」および「当期の収益以外」の算出に当たっては、1万口当たりで小数点以下を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

○当ファンド

主要投資対象である「アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れる方針です。

○アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド

当ファンドは、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマであるキャッシュレス・ビジネス、フィンテック技術基盤、次世代金融リーダーに着目して、フィンテック企業に投資を行います。フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT技術を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化し、10年以上続く成長市場になっていくと予想しています。当ファンドは、長期トレンドを捉える成長企業に投資することでファンドの成長を目指します。

■ 1万口当たりの費用明細（2020年11月11日～2021年5月10日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	41円	0.284%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は14,543円です。
（投 信 会 社）	(40)	(0.273)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
（販 売 会 社）	(0)	(0.000)	販売会社分は、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.011)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売 買 委 託 手 数 料	6	0.040	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(6)	(0.040)	
そ の 他 費 用	2	0.013	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(2)	(0.012)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	49	0.337	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況（2020年11月11日～2021年5月10日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アクサ IM・グローバル・ フィンテック関連株式マザーファンド	千口 287,604	千円 400,000	千口 8,882,214	千円 12,615,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買比率（2020年11月11日～2021年5月10日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	32,918,009千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	55,105,148千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	0.59

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2020年11月11日～2021年5月10日）

期中の利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2020年11月11日～2021年5月10日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2021年5月10日現在）

親投資信託残高

種 類	期 首（前期末）	当 期		末
	口 数	口 数	評 価	額
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド	千口 40,460,121	千口 31,865,511		千円 49,888,644

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2021年5月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド	49,888,644	99.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	176,973	0.4
投 資 信 託 財 産 総 額	50,065,618	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建て資産（54,093,214千円）の投資信託財産総額（56,283,021千円）に対する比率は、96.1%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=108.77円、1香港ドル=14.01円、1シンガポールドル=82.08円、1英ポンド=152.65円、1スイスフラン=120.71円、1ノルウェークローネ=13.26円、100インドネシアルピア=0.77円、100韓国ウォン=9.77円、1南アフリカランド=7.74円、1ユーロ=132.32円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年5月10日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	50,065,618,419円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	176,973,637
アクサ IM・グローバル・ フィンテック関連株式マザーファンド(評価額)	49,888,644,782
(B) 負 債	146,579,247
未 払 信 託 報 酬	145,977,785
そ の 他 未 払 費 用	601,462
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	49,919,039,172
元 本	32,360,300,437
次 期 繰 越 損 益 金	17,558,738,735
(D) 受 益 権 総 口 数	32,360,300,437口
1万口当り基準価額(C/D)	15,426円

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. 期首元本額 | 41,221,755,243円 |
| 期中追加設定元本額 | 4,259,505,581円 |
| 期中一部解約元本額 | 13,120,960,387円 |
| 2. 1口当たり純資産額 | 1.5426円 |

■損益の状況

当期（自 2020年11月11日 至 2021年5月10日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 175,433円
受 取 利 息	21,733
支 払 利 息	△ 197,166
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	7,287,323,972
売 買 益	8,709,325,459
売 買 損	△ 1,422,001,487
(C) 信 託 報 酬 等	△ 146,579,247
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	7,140,569,292
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	8,186,553,315
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	2,231,616,128
(配 当 等 相 当 額)	(1,485,725,233)
(売 買 損 益 相 当 額)	(745,890,895)
(G) 計 (D+E+F)	17,558,738,735
次 期 繰 越 損 益 金(G)	17,558,738,735
追 加 信 託 差 損 益 金	2,231,616,128
(配 当 等 相 当 額)	(1,488,174,567)
(売 買 損 益 相 当 額)	(743,441,561)
分 配 準 備 積 立 金	15,327,122,607

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益（129,229,306円）、費用控除後の有価証券等損益額（7,011,339,986円）、信託約款に規定する収益調整金（2,231,616,128円）および分配準備積立金（8,186,553,315円）より分配対象収益は17,558,738,735円（10,000口当たり15,426.01円）ですが、当期に分配した金額はありません。

■ 1万口当たりの費用明細（2020年11月11日～2021年5月10日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	41円	0.284%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は14,596円です。
（投 信 会 社）	(40)	(0.273)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
（販 売 会 社）	(0)	(0.000)	販売会社分は、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.011)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売 買 委 託 手 数 料	6	0.041	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(6)	(0.041)	
そ の 他 費 用	3	0.020	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(1)	(0.009)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(2)	(0.012)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	50	0.346	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況（2020年11月11日～2021年5月10日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アクサ IM・グローバル・ フィンテック関連株式マザーファンド	107,851	150,000	2,122,171	3,064,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買比率（2020年11月11日～2021年5月10日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	32,918,009千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	55,105,148千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	0.59

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2020年11月11日～2021年5月10日）

期中の利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2020年11月11日～2021年5月10日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2021年5月10日現在）

親投資信託残高

種 類	期 首（前期末）	当 期		末
	口 数	口 数	評 価	額
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド	千口 5,941,357	千口 3,927,037		千円 6,148,170

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2021年5月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド	6,148,170	98.7
コール・ローン等、その他	77,983	1.3
投資信託財産総額	6,226,153	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建て資産（54,093,214千円）の投資信託財産総額（56,283,021千円）に対する比率は、96.1%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=108.77円、1香港ドル=14.01円、1シンガポールドル=82.08円、1英ポンド=152.65円、1スイスフラン=120.71円、1ノルウェークローネ=13.26円、100インドネシアルピア=0.77円、100韓国ウォン=9.77円、1南アフリカランド=7.74円、1ユーロ=132.32円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年5月10日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	12,044,816,244円
コール・ローン等	77,983,187
アクサ IM・グローバル・ フィンテック関連株式マザーファンド(評価額)	6,148,170,335
未 収 入 金	5,818,662,722
(B) 負 債	5,901,604,588
未 払 金	5,881,304,926
未 払 信 託 報 酬	19,699,222
そ の 他 未 払 費 用	600,440
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	6,143,211,656
元 本	4,089,035,649
次 期 繰 越 損 益 金	2,054,176,007
(D) 受 益 権 総 口 数	4,089,035,649口
1万口当り基準価額(C/D)	15.024円

1. 期元本額	5,876,739,983円
期中追加設定元本額	266,931,894円
期中一部解約元本額	2,054,636,228円
2. 1口当たり純資産額	1.5024円

■損益の状況

当期(自 2020年11月11日 至 2021年5月10日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 16,349円
受 取 利 息	2,387
支 払 利 息	△ 18,736
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	699,244,387
売 買 益	1,370,416,653
売 買 損	△ 671,172,266
(C) 先 物 取 引 等 損 益	△ 1,148,552
取 引 益	8,855,534
取 引 損	△ 10,004,086
(D) 信 託 報 酬 等	△ 20,299,662
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	677,779,824
(F) 前期繰越損益金	1,287,116,534
(G) 追加信託差損益金	89,279,649
(配 当 等 相 当 額)	(88,606,068)
(売 買 損 益 相 当 額)	(673,581)
(H) 計 (E+F+G)	2,054,176,007
次 期 繰 越 損 益 金(H)	2,054,176,007
追 加 信 託 差 損 益 金	89,279,649
(配 当 等 相 当 額)	(88,784,820)
(売 買 損 益 相 当 額)	(494,829)
分 配 準 備 積 立 金	1,964,896,358

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益（15,907,376円）、費用控除後の有価証券等損益額（661,872,448円）、信託約款に規定する収益調整金（89,279,649円）および分配準備積立金（1,287,116,534円）より分配対象収益は2,054,176,007円（10,000口当たり5,023.62円）ですが、当期に分配した金額はありません。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）および株式関連証券
運用方法	<p>1. 主として、日本を含む世界のフィンテック関連企業の株式に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。投資にあたっては、①キャッシュレス・ビジネス、②テクノロジーを積極的に取り込む金融ビジネス、③フィンテックの技術基盤の3つの成長テーマに着目します。</p> <p>※当ファンドにおいてフィンテック関連企業とは、多岐にわたる新たなテクノロジーを通じて、保険、資産運用、融資、決済などの既存の金融サービスに変革をもたらす企業をいいます。</p> <p>2. ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行うことを基本とします。</p> <p>イ) 日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式の中から、金融・経済情勢などを勘案した上で、フィンテック分野で長期にわたり成長の可能性を有する企業群を選定します。その中から、流動性の低い銘柄を除外したものを投資対象銘柄として選定します。</p> <p>ロ) 投資対象銘柄の中から、詳細なファンダメンタル企業分析を行い、中長期的な収益成長性、フィンテック分野における優位性、新しい技術を開発または活用する能力、市場をリードする商品・サービスの有無、強力な経営陣などを考慮することで、組入候補銘柄を選定します。</p> <p>ハ) 選定した組入候補銘柄から、株価の上昇期待度や下落の余地、ポートフォリオ全体のリスクなどを考慮して、確信度に基づいて組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>3. 株式および株式関連証券の組入比率は、原則として高位に維持します。</p> <p>4. 運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズ・パリに運用の指図に関する権限を委託します。</p> <p>5. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>6. 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。</p>
株式組入制限	無制限

アクサ IM・グローバル・ フィンテック関連株式マザーファンド

運用報告書

第3期（決算日：2021年5月10日）

（計算期間 2020年5月12日～2021年5月10日）

■設定以来の運用実績

決算期	基準	価額		株組入比率	純資産額
		期騰	落中率		
(設定日) 2018年6月12日	円		%	%	百万円
	10,000	—		—	20,485
1期(2019年5月10日)	10,402	4.0		96.6	97,351
2期(2020年5月11日)	10,478	0.7		94.3	56,348
3期(2021年5月10日)	15,656	49.4		96.1	56,035

(注1) 基準価額は1万円当たり。

(注2) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

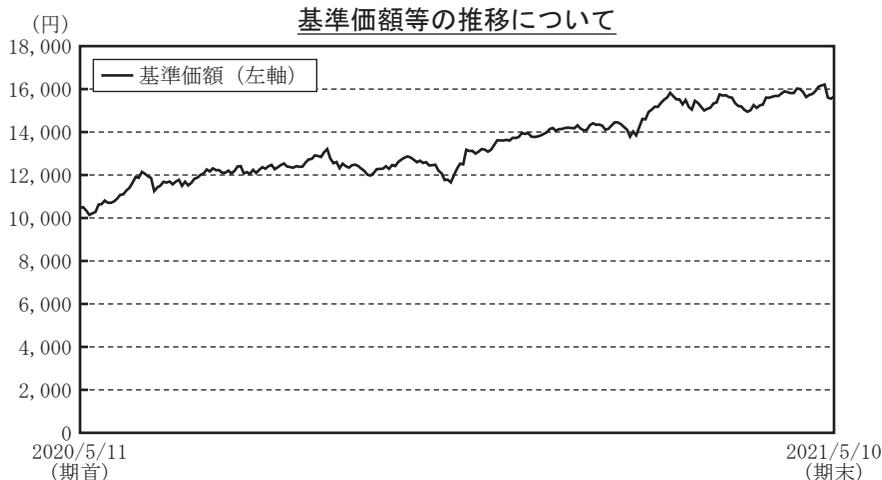
■当期中の基準価額の推移

年月日	基準	価額		株組入比率
		騰	落率	
(期首) 2020年5月11日	円		%	%
	10,478	—		94.3
5月末	11,102	6.0		95.0
6月末	11,634	11.0		95.0
7月末	12,097	15.5		92.6
8月末	12,887	23.0		94.9
9月末	12,285	17.2		96.8
10月末	11,783	12.5		93.8
11月末	13,638	30.2		96.6
12月末	14,176	35.3		94.9
2021年1月末	14,025	33.9		96.2
2月末	15,171	44.8		95.4
3月末	15,240	45.4		95.9
4月末	16,208	54.7		95.4
(期末) 2021年5月10日	15,656	49.4		96.1

(注1) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期の運用状況（2020年5月12日～2021年5月10日）



【基準価額の主な変動要因】

当期は、米国を中心に保有銘柄の株価が全般的に上昇しプラス寄与となり、基準価額は上昇しました。

【投資環境について】

○グローバル株式市場

当期のグローバル株式市場は、期を通じて上昇しました。5月から欧州や米国が新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止のためのロックダウン（都市封鎖）措置を徐々に緩和し経済活動再開への期待感が高まったことや、新型コロナウイルス感染症に対する治療薬開発、主要中央銀行による金融緩和政策を受けて堅調に推移しました。6月も景気回復の流れに乗り、7月には2020年4～6月期決算報告が好調だったことを背景に株価は上昇しました。9月に入ると、欧州で新型コロナウイルス感染再拡大により多くの国で新たな感染拡大抑制策が出されたことから急速な景気回復への期待が遠のき徐々に後退しましたが、11月の米国大統領選挙で市場の不透明感が後退したことや、新型コロナウイルス・ワクチンの臨床試験において複数の会社から高い有効性を示す結果が出されたことを好感して株価は大きく上昇しました。12月から2021年1月にかけて複数のワクチンが承認され、一部の国や地域で接種が開始されたことを受けて引き続き株価は堅調に推移しました。さらに2月には米国でバイデン大統領による追加景気対策への期待を追い風に12日の主要3株価指数は最高値を更新し、日本でもワクチン承認による「コロナ後」の景気回復への期待から15日の日経平均株価は約30年ぶりに3万円を超えました。3月には米国で救済計画法案が成立し、経済活動再開への期待が高まり4月には米国の2021年1～3月（第1四半期）実質国内総生産速報値の大幅な上昇など期末にかけて堅調に推移しました。

○為替市場

為替市場では、米ドル・円レートは期初は107円台から期末には108円台となり、ユーロ・円レートは期初の116円台から期末には132円台となりました。

当期は、前半は新型コロナウイルスの急激な感染拡大が世界経済へ及ぼす影響が懸念され、米ドルは安全資産と考えられている円に対する需要が強まり円高が進行し、ユーロはEUの復興基金創設や欧州共同債発行に対する期待などにより円安が進行しました。後半は、米ドルは12月末に成立した経済対策に加え、3月中旬に成立した救済計画法案制定による景気回復期待や金利の上昇を受けて、ユーロは株式市場の上昇によりリスク選好姿勢が強まり、比較的 안전한通貨とされる円が売られる傾向となり、円安が進行しました。

【ポートフォリオについて】

当ファンドは、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマであるキャッシュレス・ビジネス、フィンテック技術基盤、次世代金融リーダーに着目して、フィンテック企業に投資を行います。フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT技術を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化し、10年以上続く成長市場になっていくと予想しています。当ファンドは、長期トレンドを捉える成長企業に投資することでファンドの成長を目指します。企業規模の面ではビザやフィデリティ・ナショナル・インフォメーション・サービスのような大型株からWE X、ネットワーク・インターナショナル・ホールディングスなどの中小型株にも幅広く投資しています。地域別ではフィンテック関連企業の技術革新において先進的な地域である米国を中心に、グローバルに投資をしています。

期の前半は、英国のネットワーク・インターナショナル・ホールディングス、米国のクラウドストライク・ホールディングスを新規に組み入れました。また、新型コロナウイルス感染症拡大により変化した事業体系や消費行動から恩恵を受けやすい銘柄を積み増しし、景気回復を念頭に株価の上昇を予測して米国のWE Xを新規に組み入れました。また、米国のワークデイを利益確定で全売却しました。後半は、大幅な株価上昇を受けて米国の金融機関JPモルガンやシティグループおよび中国の保険会社中国平安保険（集団）等大手金融会社の株式を利益確定で全売却しました。また、ドイツの金融サービス会社ヒポポートや4月に新規株式公開（IPO）を果たしたスペインの資産運用会社オールファンズを新たに組み入れ、米国のサイバーセキュリティ会社プルーフポイントを全売却しました。

【当ファンドのベンチマークとの差異】

当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ファンダメンタル・リサーチに基づくボトムアップの銘柄選定にフォーカスした運用を行います。従って、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

【今後の運用方針】

当ファンドは、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、3つの成長テーマであるキャッシュレス・ビジネス、フィンテック技術基盤、次世代金融リーダーに着目して、フィンテック企業に投資を行います。フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のIT技術を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化し、10年以上続く成長市場になっていくと予想しています。当ファンドは、長期トレンドを捉える成長企業に投資することでファンドの成長を目指します。

■ 1万口当たりの費用明細 (2020年5月12日～2021年5月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	10円 (10)	0.077% (0.077)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
そ の 他 費 用 (そ の 他)	3 (3)	0.022 (0.022)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
合 計	13	0.099	

(注1) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 「比率」欄は、「1万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(13,365円)で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況 (2020年5月12日～2021年5月10日)

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	日 本	千株	千円	千株	千円
		4.8	25,708	181.1	952,976
外国	ア メ リ カ	百株	千米ドル	百株	千米ドル
		20,951.24	138,017	21,006.41	268,517
	香 港	千香港ドル	千香港ドル	千香港ドル	千香港ドル
		7,889.44	93,819	28,562	325,727
	シ ン ガ ポ ー ル	160	千シンガポールドル 358	4,481	千シンガポールドル 9,831
	イ ギ リ ス	30,105.59	千英ポンド 19,413	6,020.06	千英ポンド 10,895
	ス イ ス	18.17	千スイスフラン 243 (△34)	499.82	千スイスフラン 6,694
	ノ ル ウ ェ ー	852.78	千ノルウェークローネ 5,123	10,583.5	千ノルウェークローネ 123,627
	イ ン ド ネ シ ア	18,309	千インドネシアルピア 54,112,127	13,809	千インドネシアルピア 45,623,904
	韓 国	196.07 (431.96)	千韓国ウォン 5,144,240	137.63	千韓国ウォン 4,659,791
南 ア フ リ カ	578.49	千南アフリカランド 56,930	370.45	千南アフリカランド 43,602	
国	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	オ ラ ン ダ	5,548.63	3,815	13,038.78	9,714

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	ユーロ	百株	千ユーロ	百株	千ユーロ
	フ ラ ン ス	290.32	1,920	9,139.83	13,037
	ド イ ツ	85.25	3,785	545	9,650
	ス ペ イ ン	19,816.67	4,487 (△389)	53,822.71	4,515
	イ タ リ ア	3,877.04	5,923	8,560.17	11,749
	そ の 他	769.76	885	—	—

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) () 内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切り捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合 (2020年5月12日～2021年5月10日)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	67,868,227千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	56,105,427千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	1.20

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄 (2020年5月12日～2021年5月10日)

買 付				売 付			
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
FISERV INC	226.054	2,463,042	10,895	PAYPAL HOLDINGS INC	132.771	2,698,703	20,326
SHIFT4 PAYMENTS INC-CLASS A	244.854	1,682,434	6,871	ZSCALER INC	137.933	1,933,981	14,021
NETWORK INTERNATIONAL HOLDIN	2,837.234	1,499,234	528	INTUIT INC	46.602	1,758,663	37,737
WEX INC	86.446	1,418,279	16,406	PING AN INSURANCE GROUP CO-H	1,389.5	1,662,674	1,196
LUFAX HOLDING LTD	813.271	1,205,393	1,482	ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	72.703	1,593,485	21,917
ALIBABA GROUP HOLDING LTD	386.944	1,040,826	2,689	JPMORGAN CHASE & CO.	129.753	1,527,039	11,768
AMERICAN EXPRESS COMPANY	99.124	1,038,328	10,475	VERISK ANALYTICS INC	70.914	1,403,115	19,786
FIDELITY NATIONAL INFORMATIO	65.987	973,398	14,751	AMERICAN EXPRESS COMPANY	100.68	1,389,313	13,799
LONDON STOCK EXCHANGE GROUP	69.413	825,998	11,899	TENCENT HOLDINGS LTD	167.8	1,388,944	8,277
GLOBAL PAYMENTS INC	44.066	819,181	18,589	GLOBAL PAYMENTS INC	68.926	1,331,723	19,321

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2020年5月12日～2021年5月10日）

期中の利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2020年5月12日～2021年5月10日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2021年5月10日現在）

(1) 国内株式

銘柄	株数	当期末	
		評価額	
		株数	金額
	千株	千株	千円
情報・通信業 (50.8%)			
GMOペイメントゲートウェイ	95	43	584,730
証券、商品先物取引業 (49.2%)			
SBIホールディングス	312	186	566,307
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	407 2	230 2 1,151,037 <2.1%>

（注1）銘柄欄の（ ）内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

（注2）合計欄の< >内は純資産総額に対する評価額の比率。

（注3）単位未満は切捨て。

(2) 外国株式

銘柄	株数	株数	当期末		業種等
			評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	714	—	—	—	小売
AMERICAN EXPRESS COMPANY	1,558	1,543	24,532	2,668,367	各種金融
BLACKLINE INC	929	563	6,057	658,867	ソフトウェア・サービス
BLACKROCK INC	212	192	16,832	1,830,880	各種金融
CITIGROUP INC.	1,650	—	—	—	銀行
CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A	—	322	6,096	663,159	ソフトウェア・サービス
ENVESTNET INC	1,300	986	6,764	735,757	ソフトウェア・サービス
FIDELITY NATIONAL INFORMATIO	1,941	1,804	27,361	2,976,065	ソフトウェア・サービス
FISERV INC	—	1,903	22,392	2,435,613	ソフトウェア・サービス
GLOBAL PAYMENTS INC	1,564	1,316	26,510	2,883,557	ソフトウェア・サービス
GUIDEWIRE SOFTWARE INC	624	—	—	—	ソフトウェア・サービス
HDFC BANK LTD-ADR	1,228	1,299	9,277	1,009,089	銀行
INTUIT INC	455	—	—	—	ソフトウェア・サービス
JPMORGAN CHASE & CO.	1,063	—	—	—	銀行
LEMONADE INC	—	156	1,239	134,811	保険
LUFAX HOLDING LTD	—	7,308	8,148	886,327	各種金融
PALO ALTO NETWORKS INC	701	295	10,130	1,101,859	ソフトウェア・サービス
PAYPAL HOLDINGS INC	2,277	986	24,986	2,717,794	ソフトウェア・サービス

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			評価額	金額	
	株数	株数	外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
PROOFPOINT INC	836	—	—	—	ソフトウェア・サービス
Q2 HOLDINGS INC	1,126	878	8,558	930,881	ソフトウェア・サービス
S&P GLOBAL INC	393	376	14,702	1,599,224	各種金融
SHIFT4 PAYMENTS INC-CLASS A	—	1,467	12,818	1,394,240	ソフトウェア・サービス
VERISK ANALYTICS INC	946	418	7,480	813,668	商業サービス・用品
VISA INC.	1,498	1,203	27,932	3,038,206	ソフトウェア・サービス
WEX INC	—	729	14,318	1,557,385	ソフトウェア・サービス
WORKDAY INC-CLASS A	532	—	—	—	ソフトウェア・サービス
ZSCALER INC	1,842	468	7,940	863,680	ソフトウェア・サービス
PAGSEGURO DIGITAL LTD-CL A	2,969	3,406	14,765	1,606,039	ソフトウェア・サービス
STONECO LTD-A	3,654	2,340	14,626	1,590,955	ソフトウェア・サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	30,023 23	29,968 22	313,472 —	34,096,431 <60.8%>
(香港)			千香港ドル		
PING AN INSURANCE GROUP CO-H	13,780	—	—	—	保険
ALIBABA GROUP HOLDING LTD	—	1,749	38,452	538,722	小売
TENCENT HOLDINGS LTD	2,275	635	38,100	533,781	メディア・娯楽
ZHONGAN ONLINE P&C INSURAN-H	22,692	15,690	67,153	940,816	保険
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	38,747 3	18,074 3	143,705 —	2,013,319 <3.6%>
(シンガポール)			千シンガポール ドル		
DBS GROUP HOLDINGS LTD	8,902	4,581	13,678	1,122,761	銀行
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	8,902 1	4,581 1	13,678 —	1,122,761 <2.0%>
(イギリス)			千英ポンド		
LONDON STOCK EXCHANGE GROUP	757	1,088	7,806	1,191,681	各種金融
EXPERIAN PLC	3,432	2,223	6,247	953,611	商業サービス・用品
NETWORK INTERNATIONAL HOLDIN	—	24,962	10,189	1,555,479	ソフトウェア・サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	4,190 2	28,275 3	24,243 —	3,700,772 <6.6%>
(スイス)			千スイスフラン		
TEMENOS GROUP AG-REG	814	332	4,342	524,216	ソフトウェア・サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	814 1	332 1	4,342 —	524,216 <0.9%>
(ノルウェー)			千ノルウェー クローネ		
DNB ASA	6,944	—	—	—	銀行
SBANKEN ASA	8,929	6,143	63,772	845,623	銀行
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	15,874 2	6,143 1	63,772 —	845,623 <1.5%>
(インドネシア)			千インドネシア ルピア		
BANK CENTRAL ASIA TBK PT	29,078	33,578	107,449,600	827,361	銀行
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	29,078 1	33,578 1	107,449,600 —	827,361 <1.5%>

銘柄		前期末	当	期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(韓国)		百株	百株	千韓国ウォン	千円	
KAKAO CORP		—	490	5,615,080	548,593	メディア・娯楽
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	—	490	5,615,080	548,593	
		—	1	—	<1.0%>	
(南アフリカ)				千南アフリカ ランド		
CAPITEC BANK HOLDINGS LTD		925	1,133	176,175	1,363,598	銀行
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	925	1,133	176,175	1,363,598	
		1	1	—	<2.4%>	
(オランダ)				千ユーロ		
ING GROEP NV-CVA		13,498	6,008	6,497	859,802	銀行
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	13,498	6,008	6,497	859,802	
		1	1	—	<1.5%>	
(フランス)				千ユーロ		
ALD SA		8,342	—	—	—	運輸
WORLDDLINE SA		2,572	2,064	16,184	2,141,578	ソフトウェア・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	10,914	2,064	16,184	2,141,578	
		2	1	—	<3.8%>	
(ドイツ)				千ユーロ		
ALLIANZ SE		542	—	—	—	保険
HYPOPORT SE		—	83	3,919	518,653	各種金融
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	542	83	3,919	518,653	
		1	1	—	<0.9%>	
(スペイン)				千ユーロ		
BANCO SANTANDER SA		30,318	31,791	10,224	1,352,854	銀行
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	30,318	31,791	10,224	1,352,854	
		1	1	—	<2.4%>	
(イタリア)				千ユーロ		
NEXI SPA		5,782	7,592	11,859	1,569,234	ソフトウェア・サービス
FINECOBANK SPA		12,308	5,815	8,225	1,088,430	銀行
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	18,090	13,407	20,085	2,657,664	
		2	2	—	<4.7%>	
(その他)				千ユーロ		
ALLFUNDS GROUP PLC		—	769	1,004	132,920	各種金融
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	—	769	1,004	132,920	
		—	1	—	<0.2%>	
ユーロ計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	73,365	54,125	57,916	7,663,474	
		7	7	—	<13.7%>	
合 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	201,920	176,703	—	52,706,154	
		41	41	—	<94.1%>	

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 小計欄の< >内は純資産総額に対する各通貨別評価額の比率。

(注3) 合計欄の< >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注4) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2021年5月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	53,857,191	95.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	2,425,829	4.3
投 資 信 託 財 産 総 額	56,283,021	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 期末における外貨建て資産(54,093,214千円)の投資信託財産総額(56,283,021千円)に対する比率は、96.1%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=108.77円、1香港ドル=14.01円、1シンガポールドル=82.08円、1英ポンド=152.65円、1スイスフラン=120.71円、1ノルウェークローネ=13.26円、100インドネシアルピア=0.77円、100韓国ウォン=9.77円、1南アフリカランド=7.74円、1ユーロ=132.32円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年5月10日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	56,283,021,627円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	2,373,197,777
株 式(評価額)	53,857,191,701
未 収 配 当 金	52,632,149
(B) 負 債	247,309,958
未 払 金	247,284,567
そ の 他 未 払 費 用	25,391
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	56,035,711,669
元 本	35,792,549,258
次 期 繰 越 損 益 金	20,243,162,411
(D) 受 益 権 総 口 数	35,792,549,258口
1万口当り基準価額(C/D)	15,656円

1. 期首元本額	53,777,699,413円
期中追加設定元本額	1,756,764,462円
期中一部解約元本額	19,741,914,617円
2. 1口当たりの純資産額	1,5656円
3. 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額	
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド(為替なし)	31,865,511,486円
アクサ IM・グローバル・フィンテック関連株式ファンド(為替あり)	3,927,037,772円
期末元本合計	35,792,549,258円

■損益の状況

(2020年5月12日～2021年5月10日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	432,186,110円
受 取 配 当 金	432,672,056
受 取 利 息	215,891
支 払 利 息	△ 701,837
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	23,569,403,564
売 買 益	24,666,426,189
売 買 損	△ 1,097,022,625
(C) そ の 他 費 用	△ 13,285,426
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	23,988,304,248
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	2,570,708,008
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 6,709,085,383
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	393,235,538
(H) 計 (D+E+F+G)	20,243,162,411
次 期 繰 越 損 益 金(H)	20,243,162,411

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。